

感動

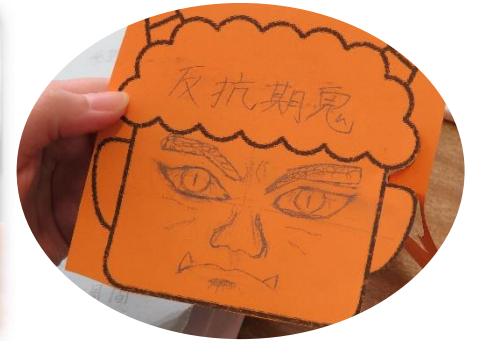
～感じて（考えて）動く～

飯豊中学校 第3学年通信

NO. 46 R3. 2. 5(金)

文責：小林豊和

鬼は～外！ 福は～内！



何を残すのか

今週で、全ての私立高校の入試が終了しました。まず、何と言っても良かったのは、受験希望者【全員】が無事、受験できたことです。

【全員】が受験できた＝【全員】が進路実現に向けて決して逃げ出さずに向き合えたこと
 話は変わり・・・今週も山形の冬らしい天候が続きました。今、2年生が中心になって登校に合わせて、除雪作業に汗を流してくれています。そして、その脇を飯豊中生が通り過ぎていきます。除雪作業をしながら、2年生が大きな声であいさつをしてくれています。本来であれば、そのあいさつに対して大きな声で返すべきだと私は思うのですが、残念ながら、まだ、大きな声で返すことができない飯豊中生がいるのが現状です。約1ヶ月後に卒業式を控えた3年生の中にも大きな声で返すことができない人がいます。

【3年生として飯豊中学校に何を残して卒業していきますか？】

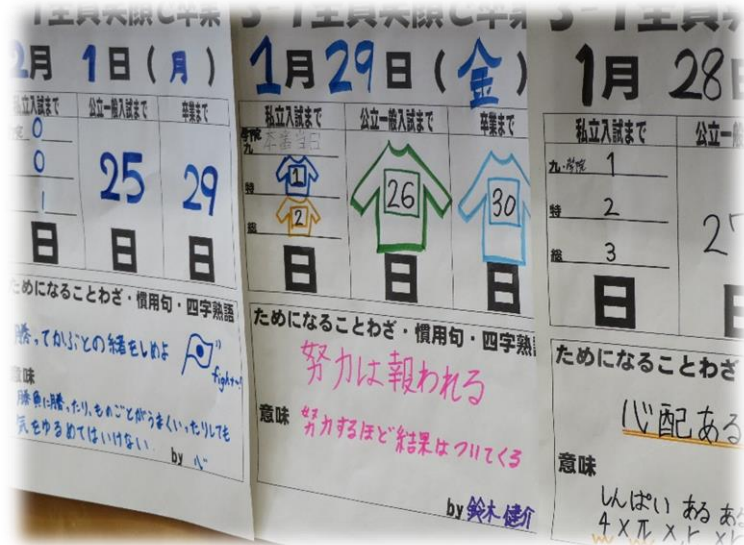
今、3年生のみんなには、【受験生】としての立場、【最上級生】としての立場の2つの立場があります。卒業式まで残り約1ヶ月【最上級生】としての立場を意識し、意識したことを表現し、飯豊中学校にたくさんの【財産】を残していきましょう。



飯豊中学校が大切にしてきた無言膝つき清掃の姿です。最上級生として、後輩に残したい一つですね。



私立高校受験日の翌日、各クラスで【豆まき】を行いました。自分が退治したい鬼（なまけ鬼・SNSに負けちゃう鬼など）を一人ひとりが鬼の面に書き込み、黒板に掲示し、その鬼に向けて豆まきを行いました。私立受験が終了し、安堵の表情の中、たくさんの「◎笑顔◎」が咲いていました。豆まきの後の、後片付けもしっかりと行う姿も見られ、さすが！と感心させられました。



1組・2組、両方のクラスに一人ひとりが書いた【カウントダウンカレンダー】が掲示されています。